



高等学校 令和5年度（1学年用）教科

国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化

2 単位

対象学年組：第 1 学年 11 組～ 12 組

教科担当者： 樋口 義郎

使用教科書： （ 言文706 新編 言語文化 大修館書店 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 各領域において自己の能力を高め、自身の考えを深めている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作品に親しみ、学習を通して作品の面白さを捉えようとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
思考力や想像力を伸ばし、国語の知識・技能を高めている。	国語で適切かつ効果的に表現する能力を身につけ、伝え合う力を高めている。	古典に親しみ、言語感覚を磨こうとするとともに、現代文を通して社会生活の充実を図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 言葉と出会う 【知識及び技能】 言葉について筆者のかんがえを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 好奇心をもって学び、進んで表現する。	・指導事項 季節の言葉と出会う 漢字と仮名の使い分け ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	○	○	○	8
	B 古文に親しむ 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解し、自信をもって音読できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文独特の響きや味わいを楽しむ。	・指導事項 古文冒頭選 児のそら寝 ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 表現を味わう 【知識及び技能】 漢字の読み、難語句を学び、あらすじをつかむ。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の描写から人物像をとらえ場面ごとの心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 語り手の役割や場面の展開に関心を持ち、生徒それぞれの視点で登場人物の言動を理解する。	・指導事項 とんかつ ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	10
	D 漢文に親しむ 【知識及び技能】 漢文訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 訓点に従って、訓読し、長く語り継がれてきた理由を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 訓読のきまりを理解できるまで繰り返し音読する姿勢を身につける。	・指導事項 訓読のきまり 格言 ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組まれている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
E 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 漢字の読みを理解し、難語句の意味を調べ、あらすじを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の背景をまとめ、登場人物の心理を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代背景を考慮しながら自分がその立場だったらどうするか考える。	・指導事項 羅生門 ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	10	

後期	F 随筆を楽しむ 【知識及び技能】 音読を繰り返し、古文の読みに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 作者のものの味方、考え方を理解し、自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 教科書にない章段にも関心をもち、関心をもった理由を話し合う。	・指導事項 徒然草 枕草子 ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもととしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	1	
	G 言葉と生きる 【知識及び技能】 叙述をもとに、場面の様子を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 教科書にない章段にも関心をもち、関心をもった理由を話し合う。	・指導事項 祖母が笑うということ ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。	○	○	○	8
H 現代に生きる言葉 【知識及び技能】 音読を繰り返し、古文の読みに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者独特の表現の方法を味わい、自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 教科書にない章段にも関心をもち、関心をもった理由を話し合う。	・指導事項 守株 五十歩百歩 蛇足 ・教材 教科書 ワークシート	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	○	○	○	6	
定期考査			○	○	1	合計	
						70	

教科: 国語

科目: 文学国語

2 単位

対象学年組: 第 2～4学年 21組～ 41組

教科担当者: 川上 文雄

使用教科書: ( 文国710 標準 文学国語 第一学習社 )

教科 国語

の目標:

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 各領域において自己の能力を高め、自身の考えを深めている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作品に親しみ、学習を通して作品の面白さを捉えようとしている。

科目 文学国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を習得する。	国語で適切かつ効果的に表現する能力を身につけ、伝え合う力を高める。	文学作品に親しみ、言語感覚を磨こうとするとともに、現代文を通して社会生活の充実を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>A 小説と出会う</b> 【知識及び技能】 小説を読み、文学作品を鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】 語句の意味を正確に把握し文章中の効果的な表現を確認する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の登場人物の心情が理解できるように積極的に作品に取り組む。	・指導事項 調律師のるみ子さん ・教材 教科書 漢字・言葉の意味プリント	【知識・技能】 ・言葉の正確な理解のためにあらかじめ重要語句について調べる。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平素使用している言葉と作品の表現の違いについて考える。	○	○	○	8
	・指導事項 デューク ・教材 教科書 漢字プリント	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	
<b>前期</b> <b>C 現代の詩</b> 【知識及び技能】 詩の構成や比喩に注意して読む。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の描写から人物像をとらえ場面ごとの心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 詩の構成や表現の特徴について考え、発表する。	・指導事項 生命は そこにひとつの席が ・教材 教科書	【知識・技能】 ・詩の内容、作品の魅力について理解している。 【思考・判断・表現】 ・詩の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	10
	・指導事項 鼻 ・教材 教科書 漢字プリント	【知識・技能】 ・近代の言語文化の特質や現代文学の関係について理解している。 ・古典作品との橋渡しとしての役割を理解し、現代の作品を読むための古典の知識の習得に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・芥川龍之介の他の作品に興味を持ち、観賞しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
<b>E 物語を受け継ぐ</b> 【知識及び技能】 冒頭の名文を味わうために漢字の読みを理解し、難語句の意味を調べ、あらすじを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の背景をまとめ、登場人物の心理を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 「人間存在の不条理」について時代背景を考慮しながら自分がその立場だったらどうするか考える。	・指導事項 山月記 ・教材 教科書 漢字プリント	【知識・技能】 ・難解な語句の理解に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間の運命ということについて真摯に考え主人公の悲運について考察を深めている。	○	○	○	10



高等学校 令和4年度（2～4学年用） 教:国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 11組～ 第4学年 41組

教科担当者：（水56限：日下）（金56限：日下）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（論国706 新編 論理国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 各領域において自己の能力を高め、自身の考えを深めている。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作品に親しみ、学習を通して作品の面白さを捉えようとしている。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
正確に読み取る力、要旨をつかむ力、主張を理解する力等を身に付けることができるようにする。	根拠を考える力、分析する力、主張を理解する力等を身に付けることができるようにする。	さまざまな文章を積極的に学習することで、実社会で生きる上で必要な論理の力を養い、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 論理と出会う 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を明確にしながる要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の考えを読み取ることに興味を持つ。	・指導事項 知の登山、知の水路 ・教材 教科書	○	○		【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	8
2 具体と抽象 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を明確にしながる要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味を持つ。	・指導事項 うさぎの耳はなぜ長い？ ・教材 教科書	○	○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やす。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を積極的に理解しようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
前期 3 対比をとらえる 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を明確にしながる要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味を持つ。	・指導事項 対話の精神 ・教材 教科書	○	○		【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読む。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比の関係を積極的に理解しようとしている。	○	○	○	10
4 主張をつかむ 【知識及び技能】 情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味を持つ。	・指導事項 「考える葦」であり続ける ・教材 教科書	○	○		【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の関係を積極的にとらえようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1



飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 国語

科目 国語表現

対象 3・4年次生

教科担当者

日下 北斗

㊞

使用教科書

国表306 国語表現 改訂版(教育出版)

使用教材

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	コミュニケーションのために	アイスブレイクを行い、コミュニケーションのための土台をつくる。	観察、生徒との対話、提出物	2
	コミュニケーションのために	アイスブレイクを行い、コミュニケーションのための土台をつくる。	観察、生徒との対話、提出物	2
5月	文章表現の基礎	文字の表記の仕方からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	文章表現の基礎	文字の表記の仕方からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	小論文 I	各種のトレーニングをとおして文章の「型」を習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	小論文 I	各種のトレーニングをとおして文章の「型」を習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成する。	観察、生徒との対話、提出物	2
6月	声の表現	声を発する具体的な場面を想定した学習をとおして、音声言語による表現方法の基礎を学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	声の表現	声を発する具体的な場面を想定した学習をとおして、音声言語による表現方法の基礎を学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	人とつながる言葉	言葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	人とつながる言葉	言葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解する。	観察、生徒との対話、提出物	2
7月	面接—社会との接点	自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べることができるようにする。	観察、生徒との対話、提出物	2
	面接—社会との接点	自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べることができるようにする。	観察、生徒との対話、提出物	2
	面接—社会との接点	自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べることができるようにする。	観察、生徒との対話、提出物	2
9月	言葉遊びと創作	言葉のセンスを磨くと同時に、言語文化の歴史的な連なり、社会的な広がり学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	言葉遊びと創作	言葉のセンスを磨くと同時に、言語文化の歴史的な連なり、社会的な広がり学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2



	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	言葉を届ける	日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。	観察、生徒との対話、提出物	2
	言葉を届ける	日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。	観察、生徒との対話、提出物	2
	言葉を届ける	日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。	観察、生徒との対話、提出物	2
	言葉を届ける	日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。	観察、生徒との対話、提出物	2
11 月	プレゼンテーションの方法	情報の視覚化の方法を知り、それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。	観察、生徒との対話、提出物	2
	プレゼンテーションの方法	情報の視覚化の方法を知り、それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。	観察、生徒との対話、提出物	2
	小論文Ⅱ	課題文を的確に理解し、自らの意見を明確にして小論文にまとめる。	観察、生徒との対話、提出物	2
	小論文Ⅱ	課題文を的確に理解し、自らの意見を明確にして小論文にまとめる。	観察、生徒との対話、提出物	2
12 月	話し合いの方法	目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	話し合いの方法	目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。	観察、生徒との対話、提出物	2
	話し合いの方法	目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。	観察、生徒との対話、提出物	2
1 月	エッセイを書く	読者を意識し、手法を工夫したエッセイを書くことができる。	観察、生徒との対話、提出物	2
	エッセイを書く	読者を意識し、手法を工夫したエッセイを書くことができる。	観察、生徒との対話、提出物	2
	エッセイを書く	読者を意識し、手法を工夫したエッセイを書くことができる。	観察、生徒との対話、提出物	2
2 月	物語を作る	それぞれの手法によって、物語の創作を楽しむ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	物語を作る	それぞれの手法によって、物語の創作を楽しむ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	メディアリテラシー	身のまわりのさまざまなメディアについて知り、その情報発信の社会的意味について認識を深める。	観察、生徒との対話、提出物	2
	メディアリテラシー	身のまわりのさまざまなメディアについて知り、その情報発信の社会的意味について認識を深める。	観察、生徒との対話、提出物	2
3 月	社会に働きかける表現	他者へのはたらきけを学ぶことで、社会との接点をどのようにもてばよいのかを初歩から学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2
	社会に働きかける表現	他者へのはたらきけを学ぶことで、社会との接点をどのようにもてばよいのかを初歩から学ぶ。	観察、生徒との対話、提出物	2

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 国語

科目 国語総合A

対象 3・4年次生

教科担当者

日下 北斗

㊞

使用教科書

国総362 高等学校 改訂版 新編国語総合(第一学習社)

使用教材

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	「島の少年一船」	○短編小説のおもしろさを味わう。 ○登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「島の少年一船」	○短編小説のおもしろさを味わう。 ○登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
5月	「島の少年一船」	○短編小説のおもしろさを味わう。 ○登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「道程」「小景異情」「六月」	○詩を読み味わう。 ○詩人のすぐれた表現に学び、自らの言語感覚を磨く。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「道程」「小景異情」「六月」	○詩を読み味わう。 ○詩人のすぐれた表現に学び、自らの言語感覚を磨く。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「言葉の海のオノマトペ」	○論理的な文章の展開・構成を明らかにしながら、筆者の主張を的確に捉える。	観察、生徒との対話、ノート等	2
6月	「言葉の海のオノマトペ」	○論理的な文章の展開・構成を明らかにしながら、筆者の主張を的確に捉える。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「言葉の海のオノマトペ」	○論理的な文章の展開・構成を明らかにしながら、筆者の主張を的確に捉える。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「数の不思議に魅せられて」	○身近な題材をめぐる随筆を読み、世界を見つめ直す契機とする。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「数の不思議に魅せられて」	○身近な題材をめぐる随筆を読み、世界を見つめ直す契機とする。	観察、生徒との対話、ノート等	2
7月	「鏡」	○作品世界を読み味わい、人間に対する洞察力を深める。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鏡」	○作品世界を読み味わい、人間に対する洞察力を深める。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鏡」	○作品世界を読み味わい、人間に対する洞察力を深める。	観察、生徒との対話、ノート等	2
9月	「世界に一つだけの花を咲かせるには」	○文章の論展開を追い、主題を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「世界に一つだけの花を咲かせるには」	○文章の論展開を追い、主題を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
10月	「大切な言葉」	○近現代の短歌に親しむ。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「大切な言葉」	○近現代の短歌に親しむ。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「手毬唄」	○近現代の俳句に親しむ。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「手毬唄」	○近現代の俳句に親しむ。	観察、生徒との対話、ノート等	2
11月	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
12月	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「ほねとたね」	○作者の文体の特徴について学び、言語感覚を磨く。 ○登場人物の心情およびその変化を丁寧に把握する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
1月	『『ネットの時代』をどう生きるか』	○評論における段落構成や論理展開のしかたを把握しながら、筆者の主張を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	『『ネットの時代』をどう生きるか』	○評論における段落構成や論理展開のしかたを把握しながら、筆者の主張を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	『『ネットの時代』をどう生きるか』	○評論における段落構成や論理展開のしかたを把握しながら、筆者の主張を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
2月	『『ネットの時代』をどう生きるか』	○評論における段落構成や論理展開のしかたを把握しながら、筆者の主張を正確に読み取る。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鉄道員」	○すぐれた現代小説を読み、文学作品のもつ重層性・多面性を理解する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鉄道員」	○すぐれた現代小説を読み、文学作品のもつ重層性・多面性を理解する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鉄道員」	○すぐれた現代小説を読み、文学作品のもつ重層性・多面性を理解する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
3月	「鉄道員」	○すぐれた現代小説を読み、文学作品のもつ重層性・多面性を理解する。	観察、生徒との対話、ノート等	2
	「鉄道員」	○すぐれた現代小説を読み、文学作品のもつ重層性・多面性を理解する。	観察、生徒との対話、ノート等	2

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 国語

科目 国語総合B

対象 2・3年次生

教科担当者

樋口 義郎 ㊞

使用教科書

高等学校 改訂版 新編 国語総合 (第一学習社)

使用教材

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	中学国文法の復習	動詞・形容詞・形容動詞の活用	行動の観察 ワークシート	2
	文語文法の復習	動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の活用	行動の観察 ワークシート	2
5月	枕草子	春は、あけぼの はしたなきもの	行動の観察 ワークシート	2
	枕草子	中納言参りたまひて	行動の観察 ワークシート	2
	枕草子	文法のまとめ	行動の観察 ワークシート	2
	徒然草	序段、仁和寺にある法師	行動の観察 ワークシート	2
6月	方丈記	安元の大火	行動の観察 ワークシート	2
	徒然草	高名の木登り	行動の観察 ワークシート	2
	奥の細道	旅立ち	行動の観察 ワークシート	2
	奥の細道	平泉	行動の観察 ワークシート	2
7月	数の不思議に魅せられて	第1段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2
	数の不思議に魅せられて	第2段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2
	数の不思議に魅せられて	第3段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2
9月	数の不思議に魅せられて	第4段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2
	数の不思議に魅せられて	学習ポイントの整理と単元のまとめ	行動の観察 ワークシート	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数	
10 月	鏡	第一段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2	
	鏡	第二段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2	
	鏡	第三段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2	
	鏡	第四段落の語句の理解と活用・読解	行動の観察 ワークシート	2	
11 月	伊勢物語	古文を正確に音読できるようにする。	行動の観察 ワークシート	2	
	伊勢物語	単語の意味を理解する。	行動の観察 ワークシート	2	
	伊勢物語	単語を積み重ねて現代語訳できるようにする。	行動の観察 ワークシート	2	
	伊勢物語	音読して、古典の調べを味わう。	行動の観察 ワークシート	2	
12 月	平家物語	古文を正確に音読できるようにする。	行動の観察 ワークシート	2	
	平家物語	単語の意味を理解する。	行動の観察 ワークシート	2	
	平家物語	単語を積み重ねて現代語訳できるようにする。	行動の観察 ワークシート	2	
1 月	論語	訓読の決まりを理解する。	行動の観察 ワークシート	2	
	論語	漢文の基本構造を理解する。	行動の観察 ワークシート	2	
	守株	登場人物の言葉や行動を通して、その心情や性格について理解を深め、おもしろさを味わう。	行動の観察 ワークシート	2	
2 月	蛇足	登場人物の言葉や行動を通して、その心情や性格について理解を深め、おもしろさを味わう。	行動の観察 ワークシート	2	
	人面桃花	日本にも影響を与えた中国唐代の物語を読み、そこに描かれた生き生きとした人物の姿を読み取る。	行動の観察 ワークシート	2	
	人面桃花	日本にも影響を与えた中国唐代の物語を読み、そこに描かれた生き生きとした人物の姿を読み取る。	行動の観察 ワークシート	2	
	唐詩	唐代の詩を繰り返し音読し、漢文特有の口調に習熟する。	行動の観察 ワークシート	2	
3 月	唐詩	唐代の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。	行動の観察 ワークシート	2	
	唐詩	漢詩の形式や表現について理解する。	行動の観察 ワークシート	2	